

Minami Kyushu University Syllabus									
シラバス年度	2022年度	開講キャンパス		宮崎キャンパス		開設学科		管理栄養学科	
科目名称	生徒指導論						授業形態		
科目コード	421150	単位数	1単位	配当学年	2年	実務経験教員		○	アクティブ ラーニング
担当教員名	田原 健二								
授業概要	<p>今日、少子化、議歩化などが進展する中で、かつては考えられなかったような様々な問題が生じており、社会的な課題になっている。このような状況において、一人一人の児童・生徒の人格を尊重し、個性の伸長を図りながら社会的資質や行動力を高めることを指導援助できる教師としての力量を培うことを目指す。そのため、生徒指導の理論、考え方や実際の指導方法について、時代の変化に即して網羅的に学ぶ。</p> <p>また、教育相談で用いるカウンセリングの技法演習を通して、児童・生徒の相談に対応する仕方を学ぶ。</p> <p>公立学校教員として、また教育行政において公立学校生徒指導を統括した実務経験を有する教員が授業を担当する。</p>								
関連する科目	概論教育学、教育心理学と関連づけて学ぶことが望ましい。								
授業の進め方と方法	<ul style="list-style-type: none"> ・講義に先立ち本時授業の流れを確認し、見通しをもって取り組むようにする。 ・配付する資料を輪読しながら意見交換し、主体的で深い学びの授業を目指す。 ・演習を取り入れ実践力を身に付けるようにする。 								
授業計画【第1回】	<ol style="list-style-type: none"> 1. 生徒指導の意義と課題 <ul style="list-style-type: none"> ・ 生徒指導の意義 ・ 生徒指導の課題 								
授業計画【第2回】	<ol style="list-style-type: none"> 2. 生徒指導と教育課程 <ul style="list-style-type: none"> ・ 教育課程における位置づけ ・ 各教科等との関連 								
授業計画【第3回】	<ol style="list-style-type: none"> 3. 生徒指導の指導原理 <ul style="list-style-type: none"> ・ 個別指導の方法原理 ・ 集団指導の方法原理 								
授業計画【第4回】	<ol style="list-style-type: none"> 4. 生徒指導と児童生徒理解 <ul style="list-style-type: none"> ・ 児童期の心理と発達 ・ 青年期の心理と発達 								
授業計画【第5回】	<ol style="list-style-type: none"> 5. 生徒指導と問題行動 <ul style="list-style-type: none"> ・ いじめ ・ 不登校 								
授業計画【第6回】	<ol style="list-style-type: none"> 6. 生徒指導と学校における組織的な対応 <ul style="list-style-type: none"> ・ 生徒指導における教職員の役割 ・ 全校指導体制の確立 								
授業計画【第7回】	<ol style="list-style-type: none"> 7. 生徒指導の実際 <ul style="list-style-type: none"> ・ 組織的な対応 								
授業計画【第8回】	<ol style="list-style-type: none"> 8. 生徒指導と教育相談 <ul style="list-style-type: none"> ・ 教育相談の進め方〔演習〕 								
授業の到達目標	<p>生徒指導は、一人一人の児童及び生徒の人格を尊重し、個性の伸長を図りながら、社会的資質や行動力を高めることを目指して教育活動全体を通じ行われる、学習指導と並ぶ重要な教育活動である。他の教職員や関係機関と連携しながら組織的に生徒指導を進めていくために必要な知識・技能や素養を身に付ける。</p> <p>児童・生徒を取り巻く社会状況の変化に対応すべく、生徒指導の理論・考え方や社会人・職業人として基礎的・基本的な資質・能力を身に付けさせるための取組について学ぶ。</p>								
学位授与の方針(DP)との関連	1. 知識・理解を応用し活用する能力-(1)								
授業時間外の学修【予習】	授業の際に次回の内容を提示するので関連情報を収集しまとめる（1時間程度）								
授業時間外の学修【復習】	授業終了後に示す課題についてレポートを作成する（1時間程度）								
課題に対するフィードバック	小テスト、レポートは評価後、返却及び解説する。								
評価方法・基準	レポートと定期試験の成績で評価する。 定期試験（80点）、課題提出（20点）								
テキスト	文部科学省「生徒指導提要」（平成22年3月）								
参考書	その他必要に応じて図書、資料を紹介する。								

備考	
----	--